

訂正とおわび

本誌のバック・ナンバーにおいて、下記の個所に誤りがありました。おわびして訂正いたします。 <https://toragi.cqpub.co.jp/tabid/928/Default.aspx> (編集部)

■ 2020年10月号

● 特集 第2部 第4章

p.77 図13(a)：吹き出し「GABA_A」と「GABA_B」が指す波形が反対

● 特集 第2部 第7章

p.95 右段↓6行目 式(1)：次のように修正

$$I = C_M \frac{dV}{dt} + m^3 h \bar{g}_{Na} (V - V_{Na}) + n^4 \bar{g}_K (V - V_K) + \bar{g}_I (V - V_I) \dots\dots\dots (1)$$

ただし、 \bar{g}_{Na} ： g_{Na} の最大値、 \bar{g}_K ： g_K の最大値、 \bar{g}_I ： g_I の最大値、 m ：ナトリウム活性化変数、 h ：ナトリウム不活性化変数、 n ：カリウム活性化変数

p.100 図15：各グラフの下に次の横軸名を入れる

時間 [0.2 s/div]

● 連載 USB マルチ測定器 Analog Discovery で作る私のR&Dセンタ

p.159 図13のキャプション：求めた定数を使って実装した発振器のループ特性→求めた定数を使って実測した発振器のループ特性